

A 重点実践事項に基づいた評価

重点実践事項	評価項目	評価 ()は1回目
1 信頼される学校づくりの推進 (選ばれた学校づくりの推進)	(1) 特別支援教育における専門性の研修は充実しているか。 ・ 本校の肢体不自由教育の専門性の明確化と年間計画に基づく研修の実施 (医療的ケア, 摂食指導) ・ やまびこ医療福祉センターとの連携による自立活動の研修 ・ 学習効果を高める教材・教具の開発と工夫・改善	3. 3 (3. 4)
	(2) 保護者ややまびこ医療福祉センターとの「支援会議」を軸とした「個別の教育支援計画」を作成し活用しているか。	3. 2 (3. 1)
	(3) 児童生徒の的確な実態把握に基づいた「個別の指導計画」を作成し評価しているか。	3. 4 (3. 2)
	(4) 学級通信や学校だよりなどの直接的な情報発信により保護者との連携は強化されているか。	3. 4 (3. 4)
2 本校の現状と課題を踏まえた実践的研究の推進	(1) 確かな授業改善につながる研究を推進 (授業力向上プログラムの推進) しているか。	3. 2 (2. 9)
	(2) 障害の重度・重複化及び多様化に対応する教育課程を編成し実践 (テーマ研究との連携) しているか。 ・ 教育的ニーズに基づいた教育課程の編成及び見直しの推進	3. 1 (3. 0)
3 教育環境の安全対策と危機管理体制の充実	(1) 安全点検に基づく安心・安全な教育環境を整備しているか。 ・ チェック表の改訂とチェック体制の整備 (施設改善)	3. 4 (3. 4)
	(2) 安心・安全な医療的ケアを実施しているか。また、医療的ケア体制は充実しているか。 ・ 医療的ケアの基礎的研修の充実とやまびこ医療福祉センターとの連携	3. 6 (3. 6)
	(3) 多様な指標に基づくきめ細かな健康観察は充実しているか。また、教育活動に生かす健康相談を実施しているか。	3. 6 (3. 5)
	(4) 保護者及びやまびこ医療福祉センターと連携した効果的な感染症対策を推進しているか。	3. 5 (3. 6)
	(5) 大規模災害等緊急時の保護者及び関係機関等との連携は図られているか。	2. 9 (3. 1)
4 地域における特別支援教育の推進	(1) 学校見学会や巡回相談等によりセンター的機能は発揮されているか。	3. 4 (3. 4)
	(2) 共に学び合い、互いに関わり合う交流及び共同学習を推進しているか。 ・ 地域の小・中学校や施設・団体 ・ やまびこ医療福祉センターや鹿児島養護学校	3. 3 (3. 2)
	(3) 支援の必要な子供やその保護者、関係者に対する教育相談は充実しているか。	3. 4 (3. 3)
5 肢体不自由教育の今日的課題を踏まえた教育の推進	(1) 肢体不自由教育の今日的課題の研修 (インクルーシブ教育推進における制度や法律) は充実しているか。	3. 0 (2. 9)
	(2) 児童生徒の将来の生活を見据えたキャリア教育を実践しているか。	3. 1 (3. 1)

※ 評価【4：十分達成できている、3：おおむね達成できている、2：やや不十分である、1：不十分である】の4段階で実施

<まとめとして>

- 全体的におおむね「達成できている」という結果が出ている。
- 実践事項2「本校の現状と課題を踏まえた実践的研究の推進」に関しては1回目よりポイントが高い。
実践事項2の(1) [確かな授業改善につながる研究の推進] については、11月11日に授業力向上プログラムにおける授業公開を行い、それに向けて鹿児島県総合教育センターと連携を図りながら授業改善に取り組んだ成果だと考える。公開の日だけでなく、それ以外もセンター職員を招いて、授業実践や授業研究を重ねることで、日々の授業の見直しにつながってきている。
実践事項2の(2) [教育課程の編成・実践] については、テーマ研究で集団学習を取り上げながら、また授業力向上プログラムで授業改善を図りながら、実践の成果を教育課程に生かすよう努めている。授業改善から指導計画見直しの取組が評価につながっていると考える。
- 実践事項5の(1) [肢体不自由教育の今日的課題の研修] に関しては、1回目よりポイントが高い。
今日的課題の研修としては、インクルーシブ教育推進における制度や法律についての研修を夏季休業中に行っている。職員で、共通理解したことが評価に反映されていると考える。この研修を踏まえて、今後も肢体不自由教育の推進に努めていきたい。
- 実践事項3の(5) [大規模災害等緊急時の連携] については、ポイントが低い。
大規模災害等緊急時の連携については取組を進めているが、「まだ不十分」という職員の意識がポイントの低下につながっていると考えられる。この項目については、学校と隣接するやまびこ医療福祉センターで、学校・やまびこ連携委員会を通して話題となり話し合いを行ってきた。学校の取組としても緊急時に対応できるように保護者と連携を図りながら、引き渡しカードや緊急時携持袋 (着替え等) を準備している。今後の大規模災害等緊急時に備え、学校防災委員会を開催し、現在、その対応について検討しているところである。

